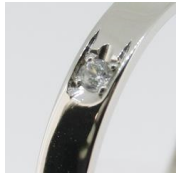
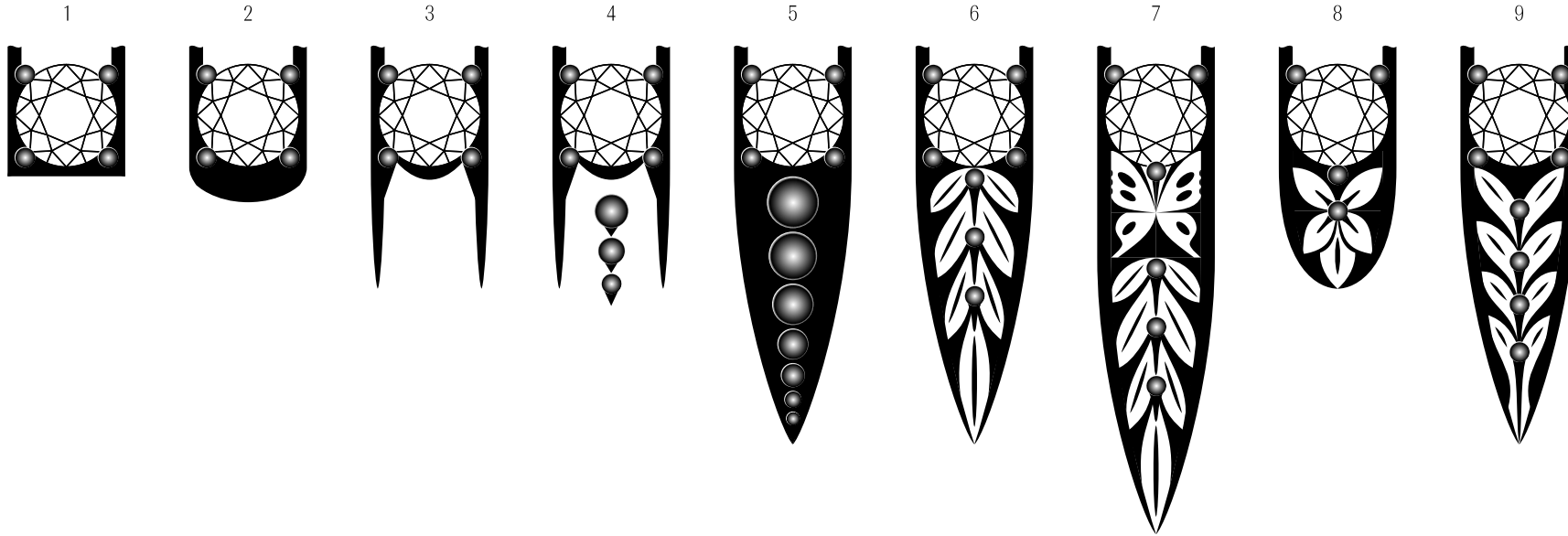


# 彫留の末端部図案



\*全て真っ直ぐな線で枠を作ります。

\*石に近い位置で、弧を描く用にハツリを入れます。  
\*平甲丸等、丸みのある面への加工に向いています。

\*石の両側の枠取り線を延長します。

\*石の両側の枠取り線を延長し、幾つか粟打ちを入れます。

\*石の両側の枠取り線を延長して合わせ、石の統さとして大ききのグラデーションの付いた粟打ちを入れます。  
\*末端の石が大きい場合には綺麗にまとめることはできません(目安として1/100以下)。

\*石の両側の枠取り線を延長して合わせ、間に葉の彫刻を入れます。  
\*末端の石が小さい場合には加工できません(目安として1/70以上)。

\*石の両側の枠取り線を延長して合わせ、間に蝶と葉の彫刻を入れます。  
\*末端の石が小さい場合には加工できません(目安として1/50以上)。

\*石の両側の枠取り線を延長して合わせ、間に花の彫刻を入れます。  
\*末端の石が小さい場合には加工できません(目安として1/70以上)。

\*石の両側の枠取り線を延長して合わせ、間に葉の彫刻を入れます。  
\*末端の石が小さい場合には加工できません(目安として1/70以上)。